

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第107回本部会議 記録

日 時／令和4年4月22日（金）
15：00～：15：25
場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

【副本部長（小玉副知事）】

これより、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第107回本部会議を開催します。
まず、道内の感染状況等について、新型コロナウイルス感染症対策監から説明願います。

【佐賀井新型コロナウイルス感染症対策監】

それでは資料1をご覧くださいと思います。まずスライドの1でございます。主な指標の状況ですけれども、昨日時点で新規感染者数は、先週比で引き続き1を上回っております。人口10万対では新規感染者数は、札幌市377.9人、札幌市を除く地域で299.5人、全道で328.9人といずれの地域も増加が見られております。一方で病床利用率ですが、札幌市17.4%、札幌を除く地域で13.0%、全道で14.4%と足下で減少が見られますほか、療養者数は概ね横ばいの傾向でございます。

続いてスライド2です。各圏域ごとの状況を見ますと、新規感染者数は全ての圏域で今週先週比が1を上回るなど、増加傾向が見られておりまして、旭川市や帯広市を含む道北圏や十勝圏など、地域によっては大きく増加している状況でございます。一方、病床利用率ですが、概ね横ばいで推移しておりますが、十勝圏など一部の地域では、足下で増加が見られております。

続いてスライド3、総評です。医療提供体制です。療養者数は増減しながら横ばいであったものの、ここ数日は増加しておりまして人口10万対では426.6人。病床利用率は増減をしながら足下で減少、全道では14.4%札幌市で17.4%でございます。

感染状況です。新規感染者数は、3月下旬以降増加傾向が続きまして、人口10万対で328.9人。地域によっては新規感染者数の増加が見られ、特に十勝圏では子どもの感染が増えるなど、人口10万対467.2人となっております。感染性がより高いとされるBA.2系統は、道内でこれまで157件検出されておりました。このうち道立保健所管内分の検出率は47.6%となっております。また、国立感染研によりますと、4月10日時点の本道のBA.2系統の割合ですが、57%と推定をされておりまして、引き続きゲノム解析のモニタリングを進めまして、その動向を監視していく必要がございます。

今後の対策です。依然として新規感染者数が高い水準で推移し、国の推定や道内の状況からは、BA.2への置き換わりが進んでいると考えられますため、今後の感染の急拡大を防ぐため、引き続き「普段から」「飲食の場面」さらには「感染に不安を感じる時」の3つの行動につつまして効果的に呼びかけてまいります。

続いてスライド4。総評の2です。ゴールデンウィークを控え、帰省や旅行など移動の準備が始まる時期となりますので、その際におけるマスクの着用や、手指消毒など、基本的な感染防止行動の徹底、あるいは発熱等の症状がある場合には、移動を控えることに加えまして、観光や交通関係の事業者としての感染防止対策も改めて、その徹底を依頼するなど、取り組みを進めてまいります。

また、移動にあたりましては、感染に不安を感じるなど、検査を希望する方に向けまして、無料検査が利用できることを呼びかけてまいります。ゴールデンウィーク中は休診休業となる医療機関や、無料検査事業所が多くなりますので、関係団体とも連携をしながらその体制の確保について働きかけてまいります。また国の通知の下、保健・医療提供体制の現状の点検を行ったところをごさいます。今後、この体制が即座に稼働できますよう運用することに加えまして、検査需要などを踏まえた検査能力の増強も進めてまいります。

またワクチン接種では、特に若年層への積極的な呼びかけを効果的に展開しますほか、道のワクチン接種センターにおける大学・企業等を対象とする団体接種の推進など、幅広い世代の3回目接種の加速化を図りますとともに、市町村等への支援に取り組んでまいります。さらにゴールデンウィークは、接種後の体調管理をしやすい時期でもございますので、3回目接種に向けた予約の促進を呼びかけてまいります。

続いてスライド5以降について、何点か主要な動向などを補足説明いたします。

スライドの23をご覧くださいと思います。スライド中央の円グラフのとおり、10代以下の割合が40%を超え最も多く、30代以下と合わせますと、引き続き70%を超えている状況でございます。またスライドの下の方にあります棒グラフのとおり、3月下旬から感染者が増加傾向にございまして、とりわけ10代以下の増加が顕著でございます。

続いてスライド25をご覧くださいと思います。3回目接種の状況ですけれども、4月20日現在では、VRSベースで約263万人と、全人口対の接種率は50.4%で、このうち65歳以上の方については、約143万人、接種率は85.5%となっております。

続いてスライドの28をご覧ください。4月9日から運営しております道のワクチン接種センターですが、現在、5月8日までの予約を受け付けておりまして、明日、4月23日土曜日は、予約予定数に達しておりますものの、それ以外の日程については予約枠に空きがございますので、ゴールデンウィークなど接触の体調管理がしやすい連休中の接種について引き続き、道民の皆様へ広報などに努めてまいります。

2つ目の丸でございます。現役世代や若者世代の3回目接種の加速のため、道のワクチン接種センターで、企業や大学などの団体接種受付を今週から開始しておりまして、10人以上の団体で、道内居住であれば、住民票が道外の方も含めた申し込みが可能となっております。

続いてスライドの29をご覧くださいと思います。3つ目の丸です。小児へのワクチンの道内の接種率ですが、1回目が12.0%、2回目が5.8%でございますので、引き続き広報チラシなど様々な媒体を活用しまして、丁寧な情報発信に努めてまいります。

最後にスライドの30をご覧くださいと思います。新たなワクチンといたしまして武田社製ワクチン、ノババックスですけれども、4月19日に薬事承認されました。国からはm-RNAワクチンのアレルギー対応などを踏まえまして、これまでのアストラゼネカ社製ワクチンの接種実績を勘案し、道内には5月下旬ですけれども、約750回分のワクチンが配分される予定となっております。国からは、各都道府県に少なくとも1カ所の接種会場を設置して、円滑な接種体制の整備に取り組むよう要請されておりまして、道におきましても、接種会場をただいま調整中でございます。また今月下旬には国のワクチン分科会が予定されておりまして、武田社製ワクチンや、4回目の接種など、当面の接種、またその後の対応方向などが議論されると伺っておりまして、道といたしましても、この検討結果を注視してまいります。

その他のスライドにつきましては本日の説明に関するデータでございますので後ほどご覧いただきたいと思っております。資料1の説明は以上でございます。

続きまして資料の2をご覧いただきたいと思っております。先ほどの資料1「道内の感染状況等」につきまして、専門家や有識者のご意見を伺いますとともに、市町村や関係団体にも事前にお知らせしているところでございます。有識者、専門家の皆様からは、概ね妥当である旨のご意見をいただいております。主なものについてご紹介いたしますと、1や3のとおり、若年層へのワクチン接種の加速化ですとか、ゴールデンウィークにおける感染予防など対策の徹底が必要である、また、オミクロン株の特性などから新規感染者の増加が、病床使用率の増加に結びつかないことなどから、指標の推移を見ながら、医療体制の確保に必要な対策をお願いしたい、などといったご意見が寄せられておまして、こうした面につきましては今後の対策の参考としてまいります。

私からの説明は以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、札幌市の感染状況について、オブザーバー出席いただいております札幌市保健所の山口感染症担当部長から、説明をお願いいたします。

【山口札幌市感染症担当部長】

札幌市の山口でございます。資料3に基づきまして札幌市の感染状況についてご説明をいたします。それでは最初のスライドをご覧ください。新規感染者の1週間の合計であります。昨日の4月21日時点で7,413人。人口10万人当たりでは377.9人と変異株のBA.2系統の感染も進んでおり、増加が続いている状況でございます。

それでは、次のスライドをご覧ください。入院患者数の黄色い棒グラフにつきましては、昨日時点で106人となっております。ここ2週間の新規入院患者は、軽症の方が大半を占めていたため、比較的入院期間も短く、直近では特に退院される方が多かったこともあり、今週に入りましてこの新規の入院患者数につきましては、減少が見られている状況でございます。ただし、新規感染者数の増加が続いていることもあり、今後の状況を引き続き注視してまいります。

重症者の数ですが、赤の折れ線グラフでございますが、最近では0名や1名が続いていたところではありますけれども3名となっております。やや増加が見られているところでございます。

それでは、最後のスライドをご覧ください。

検査件数でございます。直近の1週間は17,496件、1日平均で約2,500件の検査を実施しております。陽性率でございますが、4割を超えた状態が続いております。ゴールデンウィークを前に直近の感染状況は増加傾向が続いておりますけれども、医療の負荷を抑えながら社会活動を進めていくためにも、マスクの着用や換気の徹底などの基本的な感染対策を徹底するとともに、ワクチン接種を促進していくことが重要と考えております。以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

次に各振興局から順次発言をお願いいたします。まず、誘客担当局長からお願いします。

【中尾誘客担当局長】

それでは資料4、どうみん割の対象期間延長についてご報告をさせていただきます。一昨日の国の支援制度の延長を受けまして、道といたしましても、早速、昨日、5月9日から31日利用分までの期間延長決定し、本日正午から予約販売を開始したところでございます。

なお福島を除く東北各県との相互利用、あるいは利用に当たりましてのワクチン接種等の条件につきましては、これまでと同様でございます。1枚めくっていただきまして、今回の決定に当たりましては有識者の皆様に意見照会を行った結果でございます。ご回答いただきました皆様からは、いずれも道の考え方にご理解を示していただくところでございます。

加えて引き続き感染状況に注視し、臨機応変な対応をお願いしたいと、こういったご意見も合わせていただいたところでございます。私どもとしましては引き続きこういった意見も頂戴しながら、感染対策を徹底して事業を展開してまいりたいと考えております。

以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

次に上川総合振興局長をお願いします。

【佐藤上川総合振興局長】

管内の感染状況等についてご報告いたします。まず、管内の感染状況についてでありますけれども、旭川市では、3月末から4月にかけて急増傾向にあります。4月20日には過去最多の293人の感染が発表されておりました、強い危機感を持って対応する必要があると認識しております。感染者の内訳といたしましては、10歳代以下が占める割合が約50%を占め、小中高校の学級閉鎖が相次いでいる状況でございます。また、旭川市以外の地域では、3月末から増加傾向にあったものの、直近では減少に転じております。

次に感染拡大防止の取り組みについてでありますけれども、まず、旭川市の取り組み状況といたしまして、SNSを含めた様々な媒体を通じて3密を避けた行動や、ワクチン接種などの協力依頼、情報発信などに取り組むとともに、ワクチン接種の推進に向けては、集団接種を加速させるため、会場への巡回バスを運行し、平日にも接種を拡大したほか、旭川駅前に夜間接種会場を新設したことに加え、予約なしでも対応できる若年層向けの集団接種会場の設置も予定しております。また、市民の関心を喚起するために、未接種者への接種案内を5月に個別に郵送する他、新聞広告や町内会への回覧などを通じて市民への周知啓発を進めているところでございます。

直近の振興局の取り組み状況として、引き続き、道立保健所の体制支援やチラシやホームページによる啓発に取り組んでいるほか、旭川市は特に保健所設置市であることを踏まえ、様々な機会やチャンネルを通じて市立保健所との情報共有や意見交換を進めているところであります。また、振興局といたしましては引き続き、各市町村の問題意識や課題に寄り添い、連携を強化しながら、感染拡大防止に全力で取り組んでまいります。

上川から以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

次に十勝総合振興局長をお願いします。

【芳賀十勝総合振興局長】

資料6、十勝管内における感染防止対策の取り組みについてをご覧ください。十勝管内の新規感染者の発生状況についてであります。右上のグラフのとおり、4月以降概ね100人台となっておりますが、今週に入り18日が252人、19日が280人、そして20日が356人となり、3日連続で最多感染者数を更新するなど、急拡大している状況です。振興局の対応としましては、中ほどにありますとおり、まず増加している感染者の対応を強化するため、帯広市、音更町、芽室町、幕別町に保健師の派遣を依頼し、これまでより1日当たり3名の保健師を増員した体制で健康相談業務に当たっているほか、振興局からの応援職員や会計年度職員、委託事業者は30名配置し、陽性者への対応など、遅滞なく業務を取り進めているところでございます。

次に感染拡大の防止対策ですが、今週から国立感染症研究所の医師の方々に十勝管内に入っていただき、感染傾向の分析や今後の効果的な対策などについてご助言をいただいております。それによりますと、特に、20歳未満の世代の感染が4割を占め、20代から30代の親世代を含めると約7割になりますことから、新学期が始まった学校や職場における感染防止行動を重点的に行うことが重要とのことでございます。これを受けまして、振興局としましては、感染が最大となった4月20日の16時に、緊急の十勝総合振興局地方本部会議を開催し、管内の感染状況や分析結果を共有した上で、全庁あげて感染拡大防止の取り組みを行うよう指示するとともに、マスメディアを通じて管内の皆様にご注意喚起するほか、三密の回避や、距離確保、マスクの着用などの基本的な感染防止行動についてお願いしたところでございます。また、今後の感染防止、拡大防止に向けた振興局の取り組みとしましては、下段にありますとおり、子供たちや保護者への感染が広がっていることから、教育局と連携し、各学校に全教員と保護者に対して感染防止に向けたリーフレットを配布するほか、子供たち自らが校内放送によりわかりやすく、感染防止行動をアナウンスするなど、子供たちや保護者に対して感染防止対策の徹底を効果的に促すこととしております。

また、地域の皆様に対しては、新聞等による広報などの啓発活動はもとより、市町村長との協働による注意喚起のメッセージを発出するほか、商工会や社交組合などと連携して、第三者認証の取得と、利用促進の取り組みを行ってまいります。今後、大型連休を間近に控え、予断を許さない状況ではありますが、振興局としましては、気を緩めることなく、市町村や関係団体などと連携を図りながら、十勝管内の皆様に感染防止対策の徹底をお願いするとともに、感染者に対しては、引き続き、市町村と連携して適切な対応が行えるよう取り組んでまいります。

以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

このほか、各部振興局からご発言はございませんか。なければ本部長から。

【本部長（知事）】

新規感染者数について、一昨日、2月17日以来になります3,000人台の確認がされました。昨日も3,000人台を超えるという状況でありましたが、本日は減少しまして2,845人ということになりました。病床使用率でありますけれども、増減しながら足下では14.4%ということで、この病床の使用率については減少してきているという状況にあります。道内のBA.

2系統についてですけれども、確認数、検出率ともに増加してきております。国立感染症研究所によりますと、4月10日時点でBA.2系統の割合は、北海道については57%と推定されております。置き換わりが進んでいると考えられます。今後一層、警戒感を高めていく必要があります。こうした中、感染の急拡大を防いでいくため、春の感染拡大防止に向けた道民の皆様へのお願いとして、現在、3つの行動をお願いしております。「普段からの行動」「飲食の場面の行動」「感染に不安を感じる際の行動」それぞれの場面において、道民の皆様のご理解とご協力の下、基本的な感染防止対策の徹底などの行動を実践していただくようお願いをいたします。また道民の皆様の実践に繋がるよう、積極的に情報発信を行ってください。地域の感染状況については、新規感染者数が過去最多となっている圏域もあります。医療への負荷に繋がっていくことが懸念される状況にあります。各地方本部員においては、今後、人の動きが活発となることから、高い警戒感を持って住民の皆様や地域の事業者の方々に基本的な感染防止対策の徹底に取り組んでいただけるよう、市町村長と認識の共有を図り、連携をして取り組んでいただくように指示をいたします。またワクチンの3回目接種のさらなる促進など、地域の状況に応じた取り組みも進めてください。

先ほど報告がありましたけれども、来週末からのゴールデンウィークに向けて、あらかじめ必要な呼びかけを行っていくことが重要になります。このため、旅行や帰省などで移動を予定されている方々、事業者の方々、双方に向けて感染防止対策の徹底を改めてお願いし、そして感染の不安を感じるなど、検査を希望される方に対しては、無料検査の利用を呼び掛ける。さらには予約が必要となりますワクチンの接種については、ゴールデンウィーク中における接種、これを促進をする。こうしたことについて市町村、事業者の方々、関係団体の皆様と連携して、速やかに周知を図っていく。また、国の動向や全国的な状況も踏まえながら、ゴールデンウィークの対応についてさらに検討を進めていただくようお願いいたします。

新規感染者数の増加が続く状況にあるわけではありますが、この度、足下の保健医療提供体制について、国の通知などを踏まえた点検を行ったところであります。この点検を通じまして、最大確保病床数については2,147床。検査能力については、39,711件ということでそれぞれ増強をいたします。こうした体制により、感染状況に的確に対応するように指示をいたします。

ワクチン接種についてであります。道内の3回目の接種率は一昨日50%を超えました。感染の急拡大を抑えていくためにも、さらに接種を加速させていくことが重要になります。今後、3回目接種の時期が到来する20代、30代などの若年層をはじめとする方々の接種の促進に向けて、北海道ワクチン接種センターの活用も図りながら、市町村の取組の支援をするなど、引き続き取組を進めてください。また4月19日には、新たにノババックス社製のワクチンが薬事承認されました。アレルギーなどを理由に、これまで接種できなかった方にも接種の可能性が広がることから、道内における接種体制についても検討するように指示をいたします。

最後にどうみん割についてであります。昨日公表いたしました。期間を延長することといたしました。これまで4月28日利用分までとしていたわけではありますが、ゴールデンウィークを除いて、5月31日利用分まで延長をいたします。引き続き感染対策を徹底をした上でご利用いただくように利用者、事業者双方への周知、こちらについてもよろしくようお願いいたします。

私から以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

本部長から指示のあったことにつきまして、各本部員は必要な対応をお願いします。
以上をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部の第107回本部会議を終了します。

（了）